

# 日特建設株式会社

本店  
〒104-0061 東京都中央区銀座8-14-14  
TEL.03(3542)9111(大代表) FAX.03(3542)9133

札幌支店  
〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東4-2-20  
TEL.011(801)3611(代) 旭川営業所 TEL.0166(34)1204  
FAX.011(801)3633 函館営業所 TEL.0138(35)7010  
道東営業所 TEL.0155(24)5600

東北支店  
〒982-0036 仙台市太白区富沢南1-18-8  
TEL.022(243)4439(代) 青森営業所 TEL.017(773)7275  
FAX.022(243)4438 盛岡営業所 TEL.019(663)6100  
秋田営業所 TEL.018(863)3035  
山形営業所 TEL.023(641)5988  
福島営業所 TEL.024(536)1800

東京支店  
〒104-0044 東京都中央区明石町13-18  
TEL.03(3541)6221(代) 長野営業所 TEL.026(228)6761  
FAX.03(3541)6373 群馬営業所 TEL.027(253)2305  
宇都宮営業所 TEL.028(637)3567  
水戸営業所 TEL.029(246)2700  
埼玉営業所 TEL.048(647)6981  
千葉営業所 TEL.043(225)8023  
横浜営業所 TEL.045(450)5553

北陸支店  
〒950-0864 新潟市東区紫竹5-26-1  
TEL.025(241)2234(代) 佐渡営業所 TEL.0259(55)2332  
FAX.025(241)2229 上越営業所 TEL.0255(44)4750  
富山営業所 TEL.076(452)2766  
金沢営業所 TEL.076(240)0111  
福井営業所 TEL.0776(38)6499

名古屋支店  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-21-4  
TEL.052(571)2316(代) 岐阜営業所 TEL.058(275)0206  
FAX.052(571)1616 静岡営業所 TEL.054(202)2090  
三重営業所 TEL.059(225)6575

大阪支店  
〒530-0028 大阪市北区万才町4-12  
TEL.06(6312)4621(代) 京滋営業所 TEL.077(531)1820  
FAX.06(6312)4624 神戸営業所 TEL.078(577)2570  
奈良営業所 TEL.0747(22)5571  
高松営業所 TEL.087(840)4151  
松山営業所 TEL.089(946)0771  
高知営業所 TEL.088(861)4171

広島支店  
〒730-0803 広島市中区広瀬北町3-11  
TEL.082(231)2109(代) 鳥取営業所 TEL.0857(31)0823  
FAX.082(231)2310 松江営業所 TEL.0852(21)7317  
岡山営業所 TEL.086(226)1429  
山口営業所 TEL.0839(25)4258

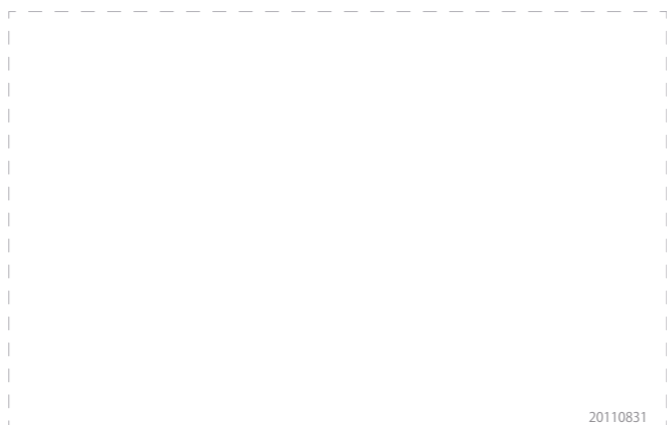
九州支店  
〒812-0027 福岡市博多区下川端町1-3  
TEL.092(271)6461(代) 佐賀営業所 TEL.0942(85)9481  
FAX.092(271)6482 長崎営業所 TEL.0957(36)5001  
熊本営業所 TEL.096(382)1639  
大分営業所 TEL.097(552)4222  
宮崎営業所 TEL.0985(23)1406  
鹿児島営業所 TEL.099(227)0901  
沖縄営業所 TEL.098(861)0739

直轄グラウト部  
〒104-0044 東京都中央区明石町13-18  
TEL.03(3542)9131(代) 直轄グラウト部  
FAX.03(3546)2183

試験所  
埼玉試験所 TEL.0480(85)2755 猿島総合センター TEL.0280(88)7661

お問い合わせ  
本店技術本部、事業本部、または最寄りの支店、営業所へお問い合わせください。  
技術本部 TEL.03(3542)9110 事業本部 TEL.03(3542)9120  
E-mail mag@nittoc.co.jp  
URL http://www.nittoc.co.jp

NITTOC



20110831

## 「堆肥を使わない法面緑化」の取扱注意事項

●本カタログ掲載工法の取扱に際しては、技術資料等をご確認ください。●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データに基づくものですが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。●福島第一原発事故に伴い拡散した放射性物質の影響を受けた地域において、現位置の材料を使用する場合には、放射線量を下げるために、表土の使用を避ける、モニタリングを行い適宜除染作業を行う等、対策を講じる必要があります。●商品改良のため、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

NITTOC

NITTOC

# 堆肥を 使わない 法面緑化



# 100%無機物による法面緑化

## つるかめソイル工法

ほぼ  
**100%  
無機**

国土交通省 NETIS 登録  
No.SK-110005-A

「つるかめソイル工法」は堆肥を一切使わず、土（無機物）100%の植生基盤材を製造し、法面へ吹付けする工法です。法面緑化の生育基盤は、一般に堆肥等の有機物が用いられますが、本工法では無機物から構成されるので、有機物の堆肥のように分解・消失することなく、長期にわたり維持されます。

また、東日本大震災に伴い堆肥が入手困難\*となった地域でも、現地の土や購入土を緑化基盤材に転用することで、法面緑化工事の施工が可能となります。

※農林水産省（平成 23 年 8 月 1 日）放射性セシウムを含む肥料・土壌改良資材・培土及び飼料の暫定許容値の設定について  
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/soumu/saigai/shizai.html>

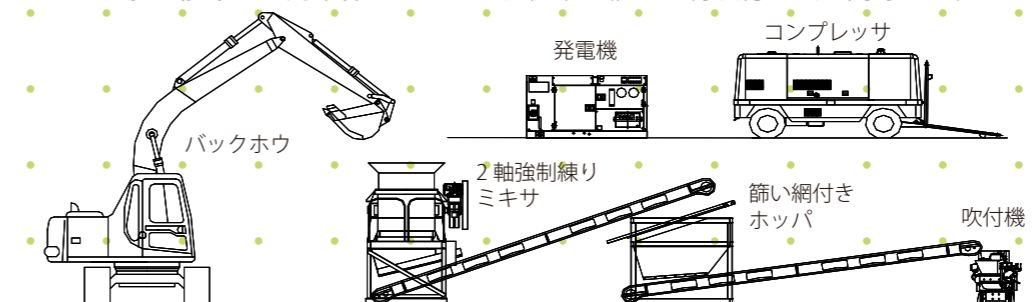
### 標準材料配合（生育基盤材 1m<sup>3</sup> 当り）

種類	土 <sup>1)</sup>	つるパウダー	かめパウダー	接合剤 <sup>2)</sup>	肥料 <sup>3)</sup>	種子 <sup>4)</sup>
配合量	1,600ℓ	4.0kg	0.8kg	1.0kg	4.8kg	種子配合による

1) 異物の混入が少ない掘削土砂（粒径 15mm 以上の異物混入割合 20%以下）。土の形状を保つ砂質土～粘性土まで広範囲な土が利用可能です。ただし、いわゆる「砂」は使用できません。ミキサーで攪拌可能な性状の土であることが必要です。詳しくはお問い合わせください。  
2) 高分子合成樹脂の粉末タイプ、3) 化成肥料 50%・遅効性被覆肥料 50%、4) 播種による急速緑化、窒素固定能力のあるメドハギ（草本）が必須。

### 施工方法

現地で材料の製造を行い、連続作業で法面への吹付を行います。  
なお、施工能率や適用条件については、従来の植生基材吹付工法と同等です。



▲施工プラント例

写真：施工後 1 ヶ月経過

つるかめソイル

検索

# 木材チップと土を 1:1 混合

## ネッコチップ工法

### 標準材料配合（生育基盤材 1m<sup>3</sup> 当り）

種類	チップ材 <sup>1)</sup>	現地発生土 <sup>2)</sup>	団粒剤 <sup>3)</sup>	接合剤 <sup>4)</sup>	肥料 <sup>5)</sup>	種子
配合量	0.5m <sup>3</sup>	0.5m <sup>3</sup>	3kg	4kg	5kg	種子配合による

1) 最大長さ 15cm 程度以下、2) 粘土含有分 20wt% 以下、3) ポリアクリルアミド、4) ポリ酢酸ビニル系、5) 遅効性肥料 2kg+ 化成肥料 3kg

### 施工方法

大きな針状チップを含む生育基盤材を連続・定量に撒き出すため、高速ベルトコンベアを搭載した専用アタッチメントを油圧ショベルに取り付けて、撒き出しによる施工を行います。



ネッコチップ ガン

検索

国土交通省 NETIS 登録  
No.CB-980067-V  
設計比較対象技術



「ネッコチップ工法」は、伐採木を破碎した生のチップ材と現地発生土を緑化基材として利用する、リサイクル緑化工法です。

伐採木などをリサイクルすることにより、廃棄物の発生量を抑制しゼロエミッションに貢献します。

また、生育基盤材の半分が土からなるため、基盤材が腐食し難く、長期にわたり安定した基盤が保持されます。



▲現地でのチップ材作製

# 木材チップを 100%使用

## 植物誘導吹付工

### 標準材料配合（生育基盤材 1m<sup>3</sup> 当り）

種類	破碎材 (1.0-1.5in(38mm))	添加剤 (はえるちゃん)	高度化成肥料	侵食防止剤 (高分子樹脂系)
配合量	1,500ℓ	50kg	4kg	5kg

### 施工方法

以下の 2 材料を別系統で圧送し、吹付ノズル先端で混合後吹付けます。

- 1) 植物発生材に肥料・侵食防止剤・種子を混合したもの
- 2) 添加剤 (はえるちゃん)

「植物誘導吹付工」は、建設工事等で発生する植物発生材（根株・幹・枝葉等）を生育基盤材として利用する工法です。耐侵食性に優れており、無播種で 3 年間放置しても、降雨による土砂侵食がゼロという実績があります。



▲チップ材



▲植生基盤材の現地作製

ノズル先端ではえる

検索

国土交通省 NETIS 登録  
No.QS-980200-V

**90%  
チップ材**

